

がくしゅうかだい（1年生）



【せいかつか】

＜学習内容＞「かぞく にこにこ 大きくせん」

◆「かぞく にこにこ 大きくせん」（きょうかしよ 98～101ページ）について、^{した}下にあるようなことをやってみよう。

(1) きょうかしよ 98～101 ページをよんで、「かぞく にこにこ 大きくせん」をかながえて、じっさいにちょうせんしてみよう。かぞくがにこにこになるためにどんなことができるかな？



※ちょうせんすることをきめたら、かぞくにそうだんしてからはじめましょう。

※じぶんで学校のようにをしたり、おへやをかたづけたりするなど、じぶんのことをじぶんですることも、にこにこ大きくせんになるかもしれないね。

(2) ちょうせんしたかんそうを、「にこにこさくせんカード」にかきましょう。さくせんをしてみてもわかったことや、かぞくがどうおもっているかもかけるといいですね。



※101 ページのまんぞくハシゴにかぞくをにこにこにできたぶんだけ、色をぬろう。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

○生活科の次の課題は一か月後に出ますので、この課題は長い期間をかけてゆったりと取り組んでください。

- ・この学習では、家族の生活について調べたり、家族の一員として何かできることをしたりすることを大切にしています。家庭での生活は互いに支え合っていることが分かり、自分の役割を積極的に果たしたり、規則正しく健康に気を付けて生活したりできるようになることを目指しています。
- ・今回は、家族のためにできることを考え、取り組みます。料理やアイロンがけなど危険が伴う役割を選んだ際は、より安全な取組を促すことが考えられます。家族と一緒にできることから挑戦する場合は、安全への配慮をお願いいたします。
- ・一度限りではなく継続した取組にすると、子どもは「上達した自分」や「続けることの大変さ」など様々なことに気付くことができます。
- ・取組を行った際には、「上手になってきたね」「疲れていたから助かったよ」などと感想を伝えていただくと、子どもの達成感や満足感が高まります。また、「こんなにできるようになったから、自分の服もたためるんじゃないかな」などと、お子さんが自分の役割に気付くことができるように関わることも有効です。

☆にこにこさくせんカード☆

がつ にち ようび てんき

ねん くみ なまえ

さくせん

えをかくところ

じをかくところ
